

訴訟事件について

固定資産価格審査決定取消請求事件【事件番号：東京地方裁判所 平成 28 年（行ウ）第 47 号】、損害賠償請求事件【事件番号：東京地方裁判所 平成 31 年（ワ）第 4089 号、固定資産価格審査決定取消，損害賠償請求控訴事件【事件番号：東京高等裁判所 令和 2 年（行コ）第 112 号】及び上告受理申立事件【事件番号：令和 4 年（行ヒ）第 44 号】

- 1 原告 市内 1 棟の家屋の区分所有者 10 社
- 2 被告 立川市（代表者 立川市固定資産評価審査委員会）
- 3 訴訟経過

(1) 第 1 審

事件番号	東京地方裁判所 平成 28 年（行ウ）第 47 号（第一事件） 東京地方裁判所 平成 31 年（ワ）第 4089 号（第二事件）
訴えの提起	平成 28 年 1 月 27 日
第 1 回口頭弁論	平成 28 年 4 月 8 日
口頭弁論終結	令和元年 11 月 20 日 計 24 回の口頭弁論（弁論準備手続を含む。）
判決言渡し日	令和 2 年 3 月 27 日

(2) 控訴審

事件番号	東京高等裁判所 令和 2 年（行コ）第 112 号
控訴日	令和 2 年 4 月 9 日
第 1 回口頭弁論	令和 2 年 11 月 5 日
口頭弁論終結	令和 3 年 6 月 15 日 計 5 回の口頭弁論
判決言渡し日	令和 3 年 9 月 9 日

(3) 上告受理申立

事件番号	令和 4 年（行ヒ）第 44 号
上告受理申立日	令和 3 年 9 月 24 日

決定日

令和4年8月25日

4 請求の趣旨

ア 原告らが区分所有する家屋の平成24年度の固定資産課税台帳登録価格について、立川市固定資産評価審査委員会が平成27年7月23日付けでした審査の申出を棄却する決定のうち、原告らが主張する価格を超える部分を取り消す。

イ 訴訟費用は、被告の負担とする。

5 事案の概要

市内の1棟の家屋を区分所有する企業10社が、平成24年度の家屋の固定資産課税台帳登録価格について不服があるとして、平成24年6月18日付けで地方税法第432条第1項に基づき審査の申出を行った。これに対して、立川市固定資産評価審査委員会は平成27年7月23日付けで、審査申出を棄却する決定を行ったため、決定の取消しを求め東京地方裁判所に訴えを提起したもの。

令和2年3月27日に判決の言い渡しがあり、原告（相手方）の主張が一部認容されたことから、市が敗訴した部分の取消しを求めて、令和2年4月9日付けで控訴の提起を行った。

令和3年9月9日に控訴審判決の言い渡しがあり、これに対して第1審原告（相手方）が令和3年9月24日付けで上告受理申立てを行ったもの。

6 判決及び決定

(1) 第1審 主文

ア 平成27年7月23日付けでした家屋課税台帳に登録された平成24年度の価格についての審査の申出を棄却する旨の決定をいずれも取り消す。

イ 原告らのその余の請求をいずれも棄却する。

(2) 控訴審 主文

ア 第1審原告の固定資産価格審査決定の取消しを求める請求に係る控訴をいずれも却下する。

イ 第1審原告のその余の控訴及び立川市の控訴をいずれも棄却する。

(3) 上告受理申立 主文

本件を上告審として受理しない。